地域安全ニュース かみ No. 105
香美地区地域安全協会
（香美警察署内）
☎52－0110 FAX 53－1855
Web 香美地区地域安全協会 検索
HP www11.ocn.ne.jp/~kami311

香美地区防犯少年剣道大会

１０月１１日、山田高校武道場で第２５回香美地区防犯少年剣道大会が開催され、香美警察署管内の小・中学生剣士が日頃の練習の成果を発揮しました。

小学生団体の部

順位	団体
優勝	山田少年剣道教室
２位	豊永少剣
３位	養心館道場青雲会

小学生低学年の部

順位	氏名		所属
優勝	北村	萌絵	豊永
２位	谷	凌汰	青雲
３位	島田	幸輝	青雲
３位	下村	椋太	山田

中学生女子の部

順位	氏名		所属
優勝	上村みず穂		豊永
２位	大和	美穂	香北
３位	福留	紗希	香北
３位	宗石	真季	香北

小学生高学年の部

順位	氏名		所属
優勝	酒井	智志	豊永
２位	岡林	華鈴	豊永
３位	米倉	愉民	山田
３位	島田	優輝	青雲

中学生男子の部

順位	氏名		所属
優勝	松本	晃稀	香北
２位	尾立慎太郎		鏡野
３位	西	健汰	香北
３位	藤原	聖人	大豊町

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

１２月１０日(水)～１２月１６日(火)

人権侵害問題解決のためには、関心と認識を深めていくことが大切です。北朝鮮当局による人権侵害問題について学び、考える機会にしてください。

※平成１８年６月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、北朝鮮人権侵害問題啓発週間が制定されました。

不法滞在外国人発見にご協力を

国内にいる不法残留者（正規に入国して、在留期限が切れた後も日本に居続ける者）の数は約５万９千人（平成26年１月１日現在、入国管理局公表）ですが、これに不法入国者の数を加えるといまだに相当数の不法滞在者が存在しています。

不審な外国人を見つけたときは１１０番、または香美警察署☎５２−０１１０までお知らせください。

平成かわら版

香美警察署交通課
高齢者ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ　坂本扶左
☎５２－０１１０

年末年始の交通安全運動

実施期間
12月10日(水)～1月9日(金)

- ●高齢者の交通事故防止
- ●シートベルト全席着用の徹底
- ●飲酒運転の根絶
- ●暴走行為を「しない」「させない」「見に行かない」
- ●自転車の安全利用の推進

自転車安全利用５則

①自転車は車道が原則、歩道は例外
②車道は左側を通行
③歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行
④安全ルールを守る
⑤子どもはヘルメットを着用

香美市文芸　風の流れ

◆一般投稿作品◆

広報委員会　選

百二才召されて潔し菊日和　岡田美代子
扱き後の落穂ついばむ夫婦鳩　楮佐古きよ
秋刀魚焼く軒より暮れて誰も来ず　上池　児末
ひっそりとツワブキ咲くや薮の蔭　都築　忠義
火の山のなき大土佐を鳥渡る　福留とものり
朝やけのすゞしい風に秋感じ　三木　牧子
着膨れてラジオ体操儘ならず　三谷　誠郎
遠来の客にもてなすとろろ汁　山﨑　貴子
蕎麦の花そよぐ故郷に祖母在りき　森本　幸美
天高し物干し竿も高く成り　山﨑　寿美
今日よりは薬一粒増えて秋　相澤　睦子
柿実のり明日の診察待ちて居り　有澤　春江
十六夜湖のかぎりをさざ波す　森本　純喜
八年の絆の介護夏負けぬ　高野　和一
銀木犀小雨のごとく落花して　千頭　野草

◆美良布俳句会◆

寺よりの帰りの道に栗拾う　岡本かほる
主亡く荒れたる庭に酔芙蓉　明石ゆきゑ
稲刈るや倒伏の穂を抱き起こし　北村　幸子
乗り継ぎを待つ外国のそぞろ寒む　北村　里子
境内を蠢く火煙秋回向　小野川順子
大水で洗われし道曼珠沙華　前田　芳子

見渡せば田圃の広し秋収め　中内ゆかり
分家のごと出来藁塚に月上る　竹内　ろ草

◆かがみ野俳句会◆

下校の子秋夕焼に透けながら　佐竹　洋子
千二百年の歴史を歩む秋遍路　利根　弘子
鳥渡る城祉の森を掠めつつ　古川　信子
雲秋意亡夫の時計巻く夕べ　小松　愛子
秋灯老ひてゆきたる手の形　中澤　美晴
琴線に触るる月夜の風のあり　山﨑　鈴子
通草裂くうすむらさきに煙りては　吉田　芳

◆かほく俳句会◆

夕焼が好きで染まりぬ赤とんぼ　乾　真紀子
九十の命惜しめと秋の風　奥宮さとみ
生垣に槇の実熟るる梨畠　久保内鏡子
田の神の去る山山の装ひに　黒岩千英子
椿の実日日に艶増し裂けにけり　小松　完
長き夜に目覚めてめくる季寄せかな　小松　隆之
至福とはビールが喉を通る時　小松　昇
妹と母を連れ出す敬老日　杉山　春萠
秋茄子父よ母よと暮れにけり　野村　里史
菊日和古着並べて懐かしむ　前田　智
倖せはこんなものかも零余子飯　前田　欣一
突き減りの金剛杖のさわやかに　間崎　和代
参道へ傾ぐ大樹や銀杏落つ　宗石　愛喜
稲架けて金銀の風やさしかり　森本　之子
朝寒し目覚まし時計止める手に　山崎かずみ
台風の静けさにあり怯えかな　山中　晶子
稲刈るやあてに出来ない明日の事　山中　瑞輝
更け待ちの月眺めつつ眠りたり　山中　明石

◆土佐山田町俳句会◆

むくろじのやうな嬰の眼に見つめられ　明石　韮生
時化は沖赤子背中でよく眠る　安丸　槙子
秋蝶の鬼の住処に翅たたむ　前田美智子
秋高しシューズの紐を締め直す　森田　菊恵
新聞を伏せ世の秋を憂ひけり　前田　小夜
秋天に漢字なぞりて下校の子　大石　邦男
コスモスに梅組と書き保育園　橋本　昭和
玉入れに童心かへる運動会　笹岡　英世
夕焼けに溶け込んで行く赤とんぼ　森田　貞男
村長以下集団移民とある昭和　樫谷　雅道
虫の音や蝕を終えたる月蒼し　田村　一翠

今月のキラリ

百二才召されて潔し菊日和

人の死を潔しと思えるのは、百二歳という長寿を称え、秋の日差しのように明るく穏やかな生涯を終えた日の、感謝の念であろう。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の１日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）
FAX 53・5958